

第2学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
教科書	美術2・3上、美術2・3下(日本文教出版)
副教材	美術資料(秀学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 - 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品

3 学習についてのアドバイス

学校	- 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 - 主題を考え、これまでに学習したことを活用して、制作に取り組みましょう。 - 主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 - 作品について感じたことを積極的に話し合いましょう。 - 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家庭	- 生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 - いつも見ているもの、身近なものでも見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ことをしてみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学期	○オリエンテーション ・学びの実感と広がり・多彩な表現に挑むのはなぜだろう・あなたの美を見つけて・この教科書で学ぶみなさんへ ○つくって使って味わう工芸（工芸） ・木でつくる ○手から手へ受け継ぐ（鑑賞） ・受け継ぐ伝統と文化 ○期末テスト	2年生の美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、この1年で学ぶことや、これからの学習の見通しを持つ。 材料の特性や機能性を生かしてつくることに興味を持ち、材料のよさや美しさ、使う場面や機能などを基に主題を生み出し、材料や用具の特性を生かし、見通しを持ってデザインし表す。 ・身の回りにある手づくりによる製品を取り上げ、材料の特性や質感などの工夫や良さについて考える。（知識） ・材料の持ち味や、使う場面などから主題を生み出す。（思考・判断・表現） ・主題を基に、材料や用具の特性を生かしながら制作する。（技能） ・互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて考えを深める。（主体的に学習に取り組む態度） 工芸作品や技の素晴らしさに関心を持ち、形や色彩、材料、技法、作風や印象などを捉え、人の手による技の素晴らしさや作品の美しさ、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める。
2 学期	○浮世絵はすごい（鑑賞） ・北斎の大波 ○文化の出会いがもたらしたもの（鑑賞） ・日本美術と世界の美術の歩み ○ひと目で伝えるための工夫（デザイン） ・色彩の特徴を深く知る	浮世絵のよさや特性などに関心を持ち、構図や色彩、作風や印象などを捉え、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。 ジャポニスムの表現の特色や時代背景などに関心を持ち、作品の特徴や日本美術の作風がどのように生かされているかなどを捉え、表現の特色や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通した国際理解、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。 ピクトグラムのデザインに関心を持ち、伝えたい内容やイメージ、伝える場面などを基に主題を生み出し、形や色彩などによる伝達の効果を考え、見通しを持ってデザインし表す。 ・形や色彩の効果や形の特徴による伝達のイメージを理解する。（知識） ・身の回りにあるサインやピクトグラムを調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための工夫について考える。（主体的に学習に取り組む態度） ・校内や身近な場所に活用できるサインやマークを基に主題を生み出す。（思考・判断・表現） ・主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って制作する。（技能） ・互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて考えを深める。（主体的に学習に取り組む態度）

	○なんでこれが美術なの？（鑑賞） ・学びの言葉 岡本太郎 ・岡本太郎“芸術はみんなのもの” ○期末テスト	現代美術に関心を持ち、物と場所、大きさ、形や色彩、制作の様子などに着目し、イメージを捉えるなどしながら、作者の心情や表現意図、創造的な工夫などについて考えるなど見方や感じ方を深める。 ・現代美術の多様な表現を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことなどを話し合う。 ・作品を通して、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などを考え、発表し合う。（主体的に学習に取り組む態度） ・発表意見や教師の解説、自分の考えから現代美術のよさや美しさ、面白さなどについてまとめる。（思考・判断・表現）
3 学 期	○暮らしやすさのデザイン（鑑賞） ○水と筆を操る（絵画） ・水墨画の表現 ○学年末テスト	使う人の立場や気持ちを考えたデザインに関心を持ち、機能と美しさの調和、使う人や場所などについて考えるなど見方や感じ方を深める。 ・さまざまな立場の人が安全に暮らせるために工夫された製品などのデザインについて鑑賞し、特徴をまとめる。（知識） ・機能や洗練された美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などを考え見方や感じ方を深める。（思考・判断・表現） ・誰もが安全で豊かに暮らすためのデザインの働きなどについて、考えたことをまとめ発表し合う。（主体的に学習に取り組む態度） 墨などで表すことに関心を持ち、表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果を考えて表現の構想を練り、墨の特性を生かして創造的に絵で表す。 ・墨などの性質や技法に触れながら、表したいものやイメージから主題を生み出す。（思考・判断・表現） ・主題を基に、濃淡や線などの効果を考えて造形的な表現の構想を練り、工夫して表す。（技能）